



## 2025年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月8日

上場会社名 株式会社エヌジェイホールディングス 上場取引所 東  
コード番号 9421 URL <https://www.njhd.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福田 尚弘  
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画室長 (氏名) 野澤 創一 TEL 03-5418-8128  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無：有  
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年6月期第1四半期の連結業績（2024年7月1日～2024年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年6月期第1四半期	2,119	△23.4	△36	—	△43	—	△16	—
2024年6月期第1四半期	2,767	14.6	148	—	153	—	142	—

(注) 包括利益 2025年6月期第1四半期 △16百万円 (—%) 2024年6月期第1四半期 145百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年6月期第1四半期	△3.13	—
2024年6月期第1四半期	26.99	—

(注) 1. 2024年6月期第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有する潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 2025年6月期第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失であり、また、希薄化効果を有する潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年6月期第1四半期	3,793	1,653	41.2
2024年6月期	3,943	1,669	40.1

(参考) 自己資本 2025年6月期第1四半期 1,563百万円 2024年6月期 1,580百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年6月期	—	—	—	—	—
2025年6月期（予想）	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無  
2025年6月期の配当予想につきましては、未定としております。

### 3. 2025年6月期の連結業績予想（2024年7月1日～2025年6月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,870	△8.5	100	△2.6	60	△37.7	40	△85.4	7.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無  
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年6月期1Q	5,350,400株	2024年6月期	5,350,400株
② 期末自己株式数	2025年6月期1Q	57,550株	2024年6月期	57,550株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年6月期1Q	5,292,850株	2024年6月期1Q	5,292,850株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- ・決算説明資料は、2024年11月8日(金)に当社ホームページに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(四半期連結貸借対照表に関する注記) .....	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	9
(収益認識関係) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、欧米における金利動向による影響や海外景気の下振れによるリスクが存在しておりますが、物価上昇の安定や成長型経済の実現を目指す政策が進められるなか、一部に足踏みが見られるも、緩やかに回復しております。

ゲーム業界におきましては、各種の余暇産業が回復するなかにおいても、その市場規模を維持しております。スマホゲーム市場では、ダウンロード数は増加しており、コロナ禍の反動減から戻りつつあります。コンシューマー市場では、次世代機への動向も注目されるなか、市場は堅調に推移しております。プレミアムなタイトルが多くリリースされているプラットフォームにおいて、プレイヤー数の多い上位タイトルは、リリースから長期間経っている人気作が多くを占めている状況です。

モバイル業界におきましては、円安等による販売価格の上昇や最新機種に対する購買意欲の低下もあって、買い換え間隔が伸びております。2023年12月から新たな値引き規制が始まりましたが、各種の下取りプランの提供もあって、円安による端末価格上昇の影響は、軽減された状況にあります。キャリアショップ数の削減傾向は続いており、1店舗当たりがカバーする商圏は拡大しております。

このような事業環境のなか、当社は、ゲーム事業におきましては、プロジェクトマネジメントの強化と新規案件の獲得に取り組んでまいりました。モバイル事業におきましては、効率的な店舗運営に努めるとともに、収益機会の拡大に取り組んでまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の連結業績につきましては、以下のとおりです。

売上高は、ゲーム事業においては、前期に開発体制のピークを過ぎた案件があることや運営及び運営サポートを行う案件の体制縮小により、減収となりました。モバイル事業においては、来店者数の減少傾向に下げ止まりが見られるなか、端末単価の上昇もあって、概ね前期並みとなりました。この結果、売上高は、2,119百万円と前年同期と比べ647百万円(23.4%減)の減収となりました。

営業損益及び経常損益は、ゲーム事業におきましては、前期に開発体制のピークを過ぎた案件があるなかで、新たに企画提案を進めている案件の受注については当期の第2四半期以降に見込んでいることから、減益となりました。モバイル事業におきましては、来店者数の減少傾向の影響が残るなか、人員配置等の効率的な店舗運営に努めたことにより、黒字を維持しました。この結果、営業損益は36百万円の営業損失(前年同期は148百万円の営業利益)となり、経常損益は43百万円の経常損失(前年同期は153百万円の経常利益)となりました。

親会社株主に帰属する四半期純損益は16百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失(前年同期は142百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### ① ゲーム事業

当セグメントにおきましては、(株)ゲームスタジオ、(株)トライエース、(株)ウィットワン、(株)ウィットワン沖縄及び(株)テックフラッグにてゲームの開発受託及び運営受託等を行っております。

売上高については、前期に開発体制のピークを過ぎた案件があることや運営及び運営サポートを行う案件の体制縮小により、1,614百万円と前年同期と比べ663百万円(29.1%減)の減収となりました。

セグメント利益(営業利益)については、前期に開発体制のピークを過ぎた案件があるなかで、新たに企画提案を進めている案件の受注については当期の第2四半期以降に見込んでいることから、この結果、35百万円のセグメント利益(営業利益)と前年同期と比べ176百万円(83.1%減)の減益となりました。

#### ② モバイル事業

当セグメントにおきましては、(株)ネプロクリエイトにてauショップ等のキャリアショップ及び複数の通信事業者の端末・サービスを取り扱う販売店PiPoPark(ピポパーク)を運営しております。

売上高については、来店者数の減少傾向に下げ止まりが見られるなか、前年同期に近い販売台数となり、端末価格の上昇もあって、490百万円と前年同期と比べ14百万円(3.1%増)の増収となりました。

セグメント利益(営業利益)については、来店者数の減少傾向の影響が残るなか、人員配置等の効率的な店舗運営に努めたことにより、黒字を維持しました。この結果、7百万円と前年同期と比べ3百万円(30.4%減)の減益となりました。

#### ③ その他

当セグメントにおきましては、クレジット決済事業等を行っております。

売上高については、17百万円と前年同期と比べ1百万円(7.3%増)の増収となりました。セグメント利益(営業利益)については、7百万円と前年同期と比べ1百万円(12.3%減)の減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間の総資産は3,793百万円となり、前連結会計年度末と比べ150百万円の減少となりました。主な要因は、現金及び預金の減少376百万円、売掛金及び契約資産の増加122百万円、流動資産のその他の増加84百万円等によるものであります。

当第1四半期連結会計期間の負債は2,139百万円となり、前連結会計年度末と比べ134百万円の減少となりました。主な要因は、買掛金の増加41百万円、流動負債のその他の減少144百万円等によるものであります。

当第1四半期連結会計期間の純資産は1,653百万円となり、前連結会計年度末と比べ16百万円の減少となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純損失16百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきまして、当第1四半期連結累計期間の営業損失については、2024年8月9日発表の業績予想において記載のとおり、上期は赤字見通しのなかで想定していたものではありませんが、短期・小規模な案件の受注に努めたことや計画より規模の大きな開発体制での受注に至った案件等により、前期の第4四半期連結会計期間と比べて営業損失幅は大きく縮小しており、業績予想時の想定と比べても縮小する結果となりました。一方で、当期の第2四半期に受注を計画している案件について、その受注時期が下期にずれ込む可能性があることから、現時点においては、通期における業績予想との乖離は軽微になるものと見込んでおります。

当連結会計年度(2025年6月期)における通期の業績見通しにつきましては、2024年8月9日発表の業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,693,104	1,316,156
売掛金及び契約資産	804,432	926,964
商品	133,514	153,820
仕掛品	50,534	51,155
貯蔵品	1,811	1,307
その他	185,630	269,977
流動資産合計	2,869,027	2,719,383
固定資産		
有形固定資産	81,099	80,168
無形固定資産		
のれん	340,000	321,966
その他	26,249	30,176
無形固定資産合計	366,249	352,143
投資その他の資産		
差入保証金	350,872	344,955
その他	343,264	363,306
貸倒引当金	△66,524	△66,524
投資その他の資産合計	627,612	641,737
固定資産合計	1,074,962	1,074,049
資産合計	3,943,989	3,793,433
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	211,272	252,906
短期借入金	※1 463,239	※1 725,250
1年内償還予定の社債	20,000	—
1年内返済予定の長期借入金	※1 190,102	※1 156,500
未払法人税等	36,655	15,877
賞与引当金	26,059	13,480
その他の引当金	174	105
その他	622,595	478,007
流動負債合計	1,570,098	1,642,128
固定負債		
長期借入金	※1 427,000	※1 198,000
退職給付に係る負債	148,952	152,046
その他	128,241	147,576
固定負債合計	704,194	497,623
負債合計	2,274,293	2,139,751

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	592,845	592,845
資本剰余金	350,290	350,290
利益剰余金	696,295	679,739
自己株式	△59,111	△59,111
株主資本合計	1,580,319	1,563,763
新株予約権	34	34
非支配株主持分	89,342	89,882
純資産合計	1,669,696	1,653,681
負債純資産合計	3,943,989	3,793,433

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)
売上高	2,767,475	2,119,696
売上原価	2,203,469	1,721,641
売上総利益	564,005	398,055
販売費及び一般管理費	415,684	434,481
営業利益又は営業損失(△)	148,320	△36,426
営業外収益		
受取利息	33	145
不動産賃貸料	3,390	1,329
受取手数料	6,235	48
受取補償金	4,638	—
その他	3,026	263
営業外収益合計	17,324	1,786
営業外費用		
支払利息	6,475	4,138
支払手数料	5,107	2,028
不動産賃貸原価	607	—
その他	274	2,613
営業外費用合計	12,464	8,780
経常利益又は経常損失(△)	153,181	△43,420
特別利益		
関係会社株式売却益	34,966	—
特別利益合計	34,966	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	188,147	△43,420
法人税等	42,995	△27,404
四半期純利益又は四半期純損失(△)	145,151	△16,015
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,320	540
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	142,830	△16,555



(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	145,151	△16,015
四半期包括利益	145,151	△16,015
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	142,830	△16,555
非支配株主に係る四半期包括利益	2,320	540

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(四半期連結貸借対照表に関する注記)

## ※1 財務制限条項

当社における下記の借入金に関して、次のとおり確約しております。

また、確約内容に反した場合は、当該債務について期限の利益を喪失する可能性があります。

(借入金)

	前連結会計年度 (2024年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
短期借入金	463,239千円	525,250千円
長期借入金(一年以内返済予定額を含む)	335,750千円	290,500千円

(確約内容)

- 2020年6月期末日及びそれ以降の各事業年度末日における連結貸借対照表に記載される純資産の部の合計金額を、2023年6月期末日における連結貸借対照表に記載される純資産の部の合計金額、又は直近の事業年度末日における連結貸借対照表に記載される純資産の部の合計金額の75%に相当する金額のうち、いずれか高いほうの金額以上に維持すること。
- 2020年6月期末日及びそれ以降の各事業年度末日における連結損益計算書に記載される経常損益を2回連続して損失としないこと。
- 2020年6月期末日及びそれ以降の各事業年度末日における連結貸借対照表に記載される有利子負債の合計金額から現預金の金額を差引いた金額を、2期連続して連結損益計算書における営業利益、受取利息、受取配当金、及び連結キャッシュ・フロー計算書における減価償却費の合計金額で除した割合が1.0倍を超えないこと。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)
減価償却費	5,243千円	23,522千円
のれんの償却額	19,999 "	20,033 "

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	ゲーム事業	モバイル事業	計		
売上高					
一時点で移転される財又はサービス	1,414,841	473,942	1,888,784	16,400	1,905,184
一定の期間にわたり移転される財又はサービス	862,291	—	862,291	—	862,291
顧客との契約から生じる収益	2,277,132	473,942	2,751,075	16,400	2,767,475
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	2,277,132	473,942	2,751,075	16,400	2,767,475
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,200	1,489	2,689	—	2,689
計	2,278,332	475,432	2,753,765	16,400	2,770,165
セグメント利益	212,366	10,167	222,533	8,475	231,008

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、クレジット決済事業等ではありません。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益又は損失(△)	金額
報告セグメント計	222,533
「その他」の区分の利益	8,475
セグメント間取引消去	—
のれん償却額	△19,999
全社費用(注)	△62,687
四半期連結損益計算書の営業利益	148,320

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	ゲーム事業	モバイル事業	計		
売上高					
一時点で移転される財又はサービス	1,301,736	490,220	1,791,957	17,602	1,809,559
一定の期間にわたり移転される財又はサービス	310,137	—	310,137	—	310,137
顧客との契約から生じる収益	1,611,873	490,220	2,102,094	17,602	2,119,696
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	1,611,873	490,220	2,102,094	17,602	2,119,696
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,084	3	3,088	—	3,088
計	1,614,958	490,223	2,105,182	17,602	2,122,784
セグメント利益	35,810	7,073	42,883	7,436	50,320

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、クレジット決済事業等でありませす。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益又は損失(△)	金額
報告セグメント計	42,883
「その他」の区分の利益	7,436
セグメント間取引消去	—
のれん償却額	△20,033
全社費用(注)	△66,712
四半期連結損益計算書の営業損失	△36,426

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## (収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「四半期連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。